

令和4年度 学校評価報告書

**令和5年1月30日
学校法人都築教育学園
札幌医療リハビリ専門学校**

令和4年1月30日

「令和4年度学校評価について」

札幌医療リハビリ専門学校
学校長 佐藤 正輝

本校では、平成25年3月文部科学省から公表されました「専修学校における学校評価ガイドライン」等に基づき、令和4年度の学校評価を行いました。

本年度の学校評価は、新型コロナウイルス感染拡大のリスクを回避するため、学校関係者評価を取りやめ、「専修学校における学校評価ガイドラインに基づく学校評価マニュアル」に沿って、全教職員を対象とした「自己評価」と全学生を対象とした学校評価アンケートにより現状を把握して評価結果を取り纏め、「学校評価報告書」により掲載し、公表させていただきます。

今後、本評価結果を真摯に受け止め、改善事項を是正して学校運営・教育活動の更なる進歩向上を図っていく所存でありますので、宜しくお願い申し上げます。

目 次

I 学校の現況	1～2
(1) 学校名	
(2) 所在地	
(3) 沿革	
(4) 学科の構成	
(5) 学生数及び教職員数	
(6) 施設の概要	
II 評価の基本方針	2
III 重点目標	2～4
(1) 重点目標	
(2) 取組状況の成果	
(3) 課題	
(4) 今後の取組	
IV 令和4年度自己評価結果	5
V 令和4年度学校評価アンケート（全学生集計）結果	6

I 学校の現況

(1) 学校名

学校法人 都築教育学園 札幌医療リハビリ専門学校

(2) 所在地

ア 法人事務局：〒899-4332 鹿児島県霧島市国分中央1-10-2

イ 学校：〒060-0806 北海道札幌市北区北6条西1丁目3-1

(3) 沿革

ア 平成11年4月 札幌デジタル専門学校及び札幌デジタル・アート専門学校開校

イ 平成18年4月 札幌デジタル・アート専門学校閉校

ウ 平成20年4月 札幌医療福祉デジタル専門学校（校名変更）

エ 平成24年4月 札幌医療リハビリ専門学校（校名変更）

(4) 学科の構成

分野	課程	学科	昼・夜区分
医療	専門課程	理学療法学科	昼間部
			夜間部
		作業療法学科	昼間部
			夜間部

(5) 学生数及び教職員数

ア 学生数（令和5年1月1日現在）

(ア) 理学療法学科（昼間部）

1年生： 34名 2年生： 30名 3年生： 25名 計 89名

(イ) 理学療法学科（夜間部）

1年生： 12名 2年生： 11名 3年生： 8名 計 31名

(ウ) 作業療法学科（昼間部）

1年生： 18名 2年生： 13名 3年生： 10名 計 41名

(エ) 作業療法学科（夜間部）

2年生： 12名 3年生： 10名 計 22名

総数 183名

イ 教職員数（令和4年1月1日現在）

(ア) 教員数：専任教員 21名 非常勤教員 43名

(イ) 職員数：専任 7名

(6) 施設の概要

ア 総面ガラスの流線形9Fビル、リハビリテーション医療の最新設備を導入

イ 各階の主要設備等

(ア) 1F：水治療室（水治療に関する最新の機器を使い、学習）

(イ) 2F：受付・ロビー（学生の談笑・昼食・自習、部外者来校時の面談等に利用）

(ウ) 3F：キャリアサポートセンター、図書室、PC室（就職情報の提供・就職相談や図書の貸出、PCの使用等、全学生が自由に利用）

- (エ) 4 F : 中講堂、PC室 (学生集会や各種会同の会場、PCの使用等に利用)
- (オ) 5 F : 機能訓練室 (動作解析や筋力測定に関する最新機器を使い、学習)
- (カ) 6 F : 基礎医学実習室 (医学の基礎となる解剖学や生理学を学習)
- (キ) 7 F : 補装具室 (義肢や装具について学習)
 日常動作訓練室 (日常生活や生活関連動作の活動分析、訓練方法を学習)
- (ク) 8 F : 基礎作業実習室① (手工芸等を通じ、活動分析、訓練方法を学習)
 基礎作業実習室② (工作を通じ、活動分析、訓練方法を学習)
- (ケ) 9 F : 大講堂兼レクリエーション室
 (全校学生集会や国家試験対策セミナー、各種会同の会場等に利用)
- ウ 3 F ~ 9 F に各学年・クラスの普通教室を設置、講義を受講

II 評価の基本方針

建学の精神「個性の伸展による人生練磨」及び教育目的「地域医療の発展に寄与しうる有能な人材を育成すること」を達成させるため、教職員による自己評価及び学生による学校評価アンケートにより現状を把握し、改善事項を案出・是正して学校運営・教育活動の更なる進歩向上を図る。

III 各重点目標の評価

(1) 重点目標 ①

項 目	内 容
重点目標	進級、卒業、国家試験合格率の改善・向上
取組状況の成果	1年次から国家試験対策として、課外時間を利用した各種ゼミを実施し、試験重要科目を補強して進級、卒業、国家試験合格率の向上を目指した。令和3年度新卒生の国家試験合格率は全体で83.1%で、前年度(69.6%)より約14ポイント上昇した。
課 題	令和3年度理学療法学科の国家試験合格率は81.6%(昼間部77.8%、夜間部90.9%)、作業療法学科は85.7%(昼間部75.0%、夜間部100%)で、学科別の成果の差が大きい。特に、理学療法学科・作業療法学科の昼間部が全国平均に比して顕著に低い。
今後の取組	各学科(昼・夜間部)での国家試験共通問題模試の実施、学力に応じた早期からの個別指導等、合格率向上(100%合格目標の設定)に向けた計画的な国家試験対策を実施する。既卒生の国家試験受験希望者については、学力の見極めに基づいた卒業後教育を継続する。

(2) 重点目標 ②

項 目	内 容
重点目標	資質教育の強化
取組状況の 成果	医療人としての資質向上の第一歩として、教職員による積極的な挨拶、 躰指導の強化を図った。
課 題	マナー教育の浸透が不十分であり、授業態度不良や飲食物の放置、約 束事項・時間を守らない学生が散見され、継続指導が必要である。
今後の取組	担任教員のみならず、全教職員が教育・校内生活の場を通じて、その都 度、個別指導を実施するとともに、範を示すよう積極的な活動を実行し ていく。

(3) 重点目標 ③

項 目	内 容
重点目標	1 新型コロナウイルス感染拡大防止 2 教場・設備等の整備及び教材等の充実
取組状況の 成果	1 前年度から継続して新型コロナウイルス対策として衛生環境・感染 予防環境の維持・整備を行った。授業に当たっては、新型コロナウイルスの 市中感染状況や学生・教職員の健康状況を継続的に確認しつつ、 状況に応じてオンライン授業で実施する等、3密回避及び一般的な感 染予防対策を徹底して、校内での感染者及びクラスター発生の未全防 止を図った。 2 教育環境の維持・改善のため、新規教材・消耗品の調達、老朽・不要 教材の処分及び学生ラウンジ整備等を行い、環境改善を図った。
課 題	1 昼休みや下校時などの気が緩みやすい時期における学生間の3密回 避が不十分な状況が散見される。 2 施設・設備面として、電気・空調系統の老朽化及びオンライン教育の ための通信環境が問題であり、中・長期的な整備計画が必要である。
今後の取組	1 感染予防・拡大防止のための3密回避、マスク・手指消毒の徹底等、 全教職員による継続的な注意喚起・指導を行っていく。 2 中・長期的な整備計画の策定とともに、日直等による日常的な施設 点検により不具合箇所の早期発見に努める。

(4) 重点目標 ④

項 目	内 容
重点目標	学生生活支援の強化
取組状況の 成果	学校での勉学や学生生活の準拠として、学生便覧を配布するとともに、奨学金支援、健康管理支援、アルバイト支援、証明書等の発行、福利厚生としてのレクリエーション等各種支援・施策により学生生活を支援した。 また、スクールカウンセラーにより、学生の生活面での悩み等のカウンセリングを実施して、その改善に寄与している。
課 題	金銭的に余裕のない学生が時間的に厳しいアルバイトを実施することにより学生の本旨である勉学がおろそか（授業中の居眠り等）になり成績不良となるケースがある。
今後の取組	次年度も上記の取組みを継続する。 担任教員は、学生の生活環境の把握を継続的に実施して、不適切と思われる学生との対話を密に取って生活指導、学習指導を適宜実施する。

(5) 重点目標 ⑤

項 目	内 容
重点目標	事務（経理）業務の効率化・合理化、適性化
取組状況の 成果	事務長以下の事務組織を維持、学校印管理を確実にするとともに、経理業務について規程に基づき相互監視を維持した。学納金については、新校務システムを活用し管理を確実に実施した。 また、経費削減の観点から日直職員巡回による節エネ、印刷・配布物の精選による紙・インク経費の節減、校用車利用奨励による旅費の削減等を図った。
課 題	学納金未納者の存在（様々な理由があるが、延納処置を実施しない学生も多数存在）
今後の取組	次年度も上記の取組みを継続する。 また、学納金未納者に対しては、早期からの注意喚起と家庭との連携の保持に留意する。

Ⅳ 令和4年度自己評価結果

○ 評価項目に対して4段階（「適切：4点」「ほぼ適切：3点」「やや不適切：2点」「不適切：1点」）で評価し、教職員の平均点を評価結果として表示した。

区分	連番	評価項目	平均点
教育理念・目標	1	学校の理念・目的・育成人物像は定められているか	3.38
	2	医療専門学校として医療人教育がなされているか	3.12
	3	理念・目的・育成人材像・特色などが教職員・学生・保護者等に周知されているか	2.96
学校運営	4	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3.00
	5	教員会議及び事務職員会議は適正かつ効果的に開催されているか	3.15
	6	全職員会議は適切かつ効果的に開催されているか	2.96
	7	学則等諸規定の整備、見直しは適正に行われているか	3.19
	8	コンプライアンス体制が整備されているか	2.96
	9	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	3.08
教育活動	10	教育理念等に沿ったカリキュラムの編成・実施方針等が策定されているか	3.15
	11	教育到達レベルを目標とした教育や学習時間の確保がなされているか	3.12
	12	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3.19
	13	医療人の職業教育という視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3.12
	14	関連分野における実践的な職業教育（実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	3.38
	15	授業評価の実施・評価体制はあるか	2.73
	16	職業に関する部外関係者からの評価を取り入れているか	2.88
	17	成績評価・単位認定、進級・卒業認定の基準は明確になっているか	3.08
	18	国家資格取得に関する指導体制を体系的に明確に位置づけているか	2.96
	19	教育理念、教育目標の達成に向けて、授業を行うことができる要件を備えた教員及び教材を確保しているか	3.08
	20	教職員の能力開発のための研修等が行われているか	3.00
修学成果	21	国家資格取得率の向上が図られているか	3.08
	22	就職率の向上が図られているか	3.42
	23	退学率の低減が図られているか	3.04
	24	卒業後のキャリア形成の効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか	2.81
学生支援	25	学生相談に関する体制は整備されているか	3.35
	26	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	3.27
	27	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3.27
	28	保護者と適切に連携しているか	3.19
	29	卒業生への支援体制はあるか	2.92
	30	関連業界との連携によるキャリア教育の取り組みが行われているか	2.69
教育環境	31	施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3.12
	32	学内外の実習施設、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3.00
	33	防災に対する体制は整備されているか	3.31
学生の受入れ募集	34	学生募集活動は、適正に行われているか	3.31
	35	学生募集活動において、教育・修学成果は正確に伝えられているか	3.23
	36	入学選考は、適正に行われているか	3.27
財務	37	財務について会計監査が適切に行われているか	3.35
法令等の遵守	38	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3.38
	39	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3.31
	40	自己評価の実施・結果の公表及び問題点の改善に努めているか	3.19

V 令和4年度学校評価アンケート（全学生集計）結果

区分	連番	項 目	よくあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
教育活動	1	教員は、学生の悩みや相談に応じている。	27.9%	62.4%	7.3%	2.4%
	2	教員は、社会人としてのマナーや基本的な生活習慣が身に付くように指導を行っている。	37.0%	53.3%	9.1%	0.6%
	3	教員は、専門職としての職業観を育成する教育を行っている。	38.8%	54.5%	6.7%	0.0%
	4	教員は、授業を年間計画(シラバス)の内容通りに行っている。	27.9%	58.8%	11.5%	1.8%
	5	教員は、学習目標を明確にした授業を行っている。	28.5%	60.6%	10.3%	0.6%
	6	教員は、ポイントを的確に押さえた授業を行っている。	26.7%	63.0%	9.7%	0.6%
	7	教員は、学生に対して親身な指導を行っている。	35.8%	53.9%	9.7%	0.6%
	8	教員は、わからない点について、個別指導により対応している。	34.5%	55.8%	9.7%	0.0%
	9	教員は、提出された課題などについて、粘り強く指導している。	26.1%	57.6%	12.1%	4.2%
	10	教員は、臨床実習に替えて学内演習による指導を十分に行っている。	29.9%	60.7%	3.7%	5.6%
	11	教員は、学生に対して公平かつ正確な成績評価を行っている。	35.8%	57.0%	4.8%	2.4%
	12	教員は、成績不振者への指導・支援を十分に行っている。	28.5%	62.4%	9.1%	0.0%
サポート体制・教育環境	13	学校は、国家資格取得に関して指導体制は整備され、機能している。	25.5%	60.6%	10.9%	3.0%
	14	学校は、学生の経済的側面に対する支援が整備されている。	24.2%	55.2%	13.9%	6.7%
	15	学校は、学生への健康管理体制が整備されている。	26.7%	61.8%	8.5%	3.0%
	16	学校は、保護者との連携がとれている。	20.0%	49.1%	20.0%	10.9%
	17	就職活動において、学生が主体的に選択できるように情報の提供が行われている。	20.7%	62.1%	13.8%	3.4%
	18	就職活動に対する指導体制は、整備され機能している。	13.8%	58.6%	17.2%	10.3%
	19	学校の施設設備は、清掃され、清潔であり、よく整備されている。	37.0%	52.1%	7.9%	3.0%
	20	学校は防災に配慮し、健全で安全な学校生活に配慮している。	26.7%	63.6%	7.9%	1.8%
自己の修学態度等	21	私は、授業の予習・復習を行っている。	9.7%	52.7%	29.7%	7.9%
	22	私は、教科書・ノート・辞書などの教材を準備して授業に臨んでいる。	24.8%	64.2%	9.1%	1.8%
	23	私は、私語や居眠りなどはせず授業に集中している。	17.0%	57.6%	20.0%	5....
	24	私は、わからないことがあれば質問するようにしている。	20.0%	56.4%	20.0%	3.6%
	25	私は、課題の提出期限を守っている。	34.5%	54.5%	9.7%	1.2%
	26	私は、授業中のグループ活動に積極的に参加している。	30.3%	60.6%	9.1%	0.0%
	27	私は、実習に対して積極的に取り組んでいる。	27.3%	65.5%	7.3%	0.0%
	28	私は、この学校に入学してよかった。	23.0%	59.4%	13.3%	4.2%